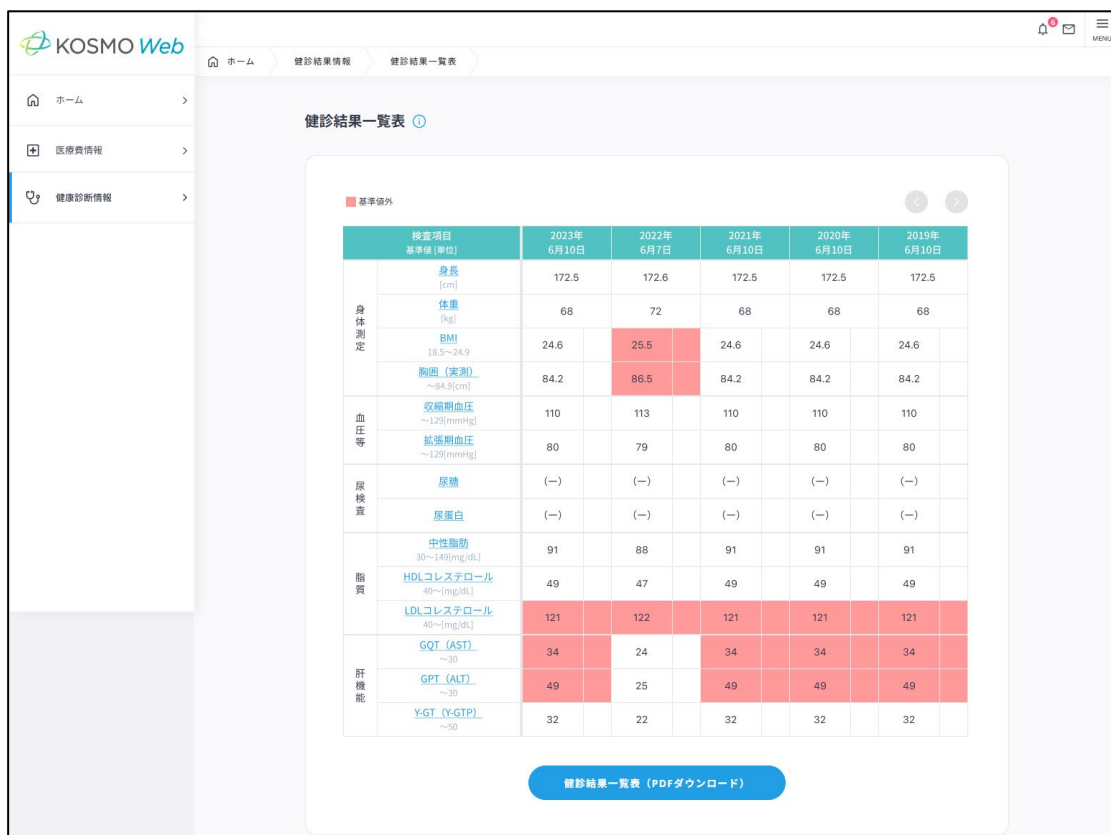


健診結果情報 ご利用マニュアル

ver.20250520

? 健診結果情報とは？

健診結果を一覧で表示します。過去に受診した健診の結果も表示されますので、経年で確認することができます。各検査項目のリンクから、健診結果の詳細(経年グラフ・解説・将来の疾病リスク)を確認することができます。



検査項目 基準値 (単位)		2023年 6月10日	2022年 6月7日	2021年 6月10日	2020年 6月10日	2019年 6月10日
身体測定	身長 [cm]	172.5	172.6	172.5	172.5	172.5
	体重 [kg]	68	72	68	68	68
	BMI 18.5~24.9	24.6	25.5	24.6	24.6	24.6
	胸囲 (実測) ~84.9 [cm]	84.2	86.5	84.2	84.2	84.2
血圧等	収縮期血圧 ~129 [mmHg]	110	113	110	110	110
	拡張期血圧 ~129 [mmHg]	80	79	80	80	80
尿検査	尿糖	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	尿蛋白	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
脂質	中性脂肪 30~149 [mg/dL]	91	88	91	91	91
	HDLコレステロール 40~ [mg/dL]	49	47	49	49	49
	LDLコレステロール 40~ [mg/dL]	121	122	121	121	121
肝機能	GOT (AST) ~30	34	24	34	34	34
	GPT (ALT) ~30	49	25	49	49	49
	γ-GT (γ-GTP) ~50	32	22	32	32	32

健診結果一覧表 (PDFダウンロード)

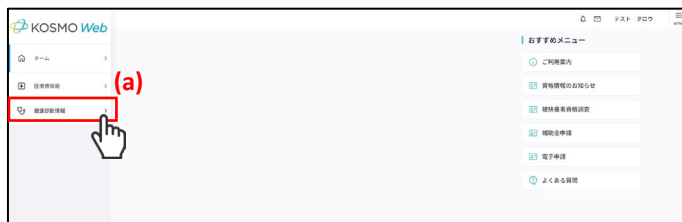
【目次】

- ① 健診結果を確認する P2
- ② 健診結果情報でできること P2

1 健診結果を確認する

【1】 健診結果を確認する

1. 左メニューの「健診結果情報」をクリックします。
2. 健診結果一覧表が表示されます。



検査項目 基準値 (単位)	2023年 6月10日	2022年 6月7日	2021年 6月10日	2020年 6月10日	2019年 6月10日
身長 [cm]	172.5	172.6	172.5	172.5	172.5
体重 [kg]	68	72	68	68	68
BMI 18.5~24.9	24.6	25.5	24.6	24.6	24.6
胸囲 (実測) ~84.9(cm)	84.2	86.5	84.2	84.2	84.2
収縮期血圧 ~120(mmHg)	110	113	110	110	110
拡張期血圧 ~120(mmHg)	80	79	80	80	80
尿糖	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

2 健診結果情報でできること

【1】 経年での健診結果閲覧

1. 過去の健診結果データがある場合に経年で健診結果が表示されます。
※背景色が赤の場合、その項目は基準値外です。
※検査項目は、受診内容によって異なります。

【2】 健診結果一覧表をダウンロード

1. 「健診結果一覧表(PDFダウンロード)」(a)をクリックします。
2. 健診結果一覧表をPDFで表示・ダウンロードすることができます。

検査項目 基準値 (単位)	2023年 6月10日	2022年 6月7日	2021年 6月10日	2020年 6月10日	2019年 6月10日
身長 [cm]	172.5	172.6	172.5	172.5	172.5
体重 [kg]	68	72	68	68	68
BMI 18.5~24.9	24.6	25.5	24.6	24.6	24.6
胸囲 (実測) ~84.9(cm)	84.2	86.5	84.2	84.2	84.2
収縮期血圧 ~120(mmHg)	110	113	110	110	110
拡張期血圧 ~120(mmHg)	80	79	80	80	80
尿糖	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
尿蛋白	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
中性脂肪 30~149(mg/dL)	91	88	91	91	91
HDLコレステロール 40~(mg/dL)	49	47	49	49	49
LDLコレステロール 40~(mg/dL)	121	122	121	121	121
GOT (AST) ~30	34	24	34	34	34
GPT (ALT) ~30	49	25	49	49	49
Y-GT (Y-GTP) ~90	32	22	32	32	32

[3] 各検査項目の詳細を確認する

- 1. 確認したい検査項目名(b)をクリックします。
- 2. 該当項目の詳細が表示されます。
数値が経年でグラフ化され、項目の解説や疾病リスクも表示されます。
- 3. 疾病名(c)をクリックすると、該当の疾病情報画面へ遷移します。

疾病情報

■ 本態性高血圧

診療名

内科
循環器内科

概要

本態性高血圧は、**高血圧**のうち、血圧上昇の原因が明らかでないものをいいます。日本国内では、高血圧患者の約9割が本態性高血圧です。
患者には、適切な薬物（体質）や加齢のほか、生活習慣（食塩の過剰摂取・肥満・喫煙など）など複数の要因が相互に関連していると考えられています。そのため、治療にはまず生活習慣の改善が必要となります。効果がみられない場合は薬物療法が付けられます。ただし、高血圧の治療では、ただちに薬物療法が開始されます。
高血圧は、**脳卒中**（脳梗塞・脳出血・くも膜下出血）、心臓病、心不全などの脳心血管病、**慢性腎臓病（CKD）**など、さまざまな臓器の障害を引き起こします。また、**脂質異常症**との発症にも関わっていることが指摘されています。糖尿病などが高血圧を合併されたら放置せず、必ず医師の診断を受けるようにしましょう。

症状

自覚症状はほとんど現れません。しかし、高血圧が悪化し、**心不全**、**慢性腎臓病（CKD）**といった合併症が生じると、それらの病状によって、息切れ、動悸（どうご）、むくみなどの症状が現れることがあります。

原因

本態性高血圧の原因には、遺伝的要因（体質）や加齢のほか、食塩の過剰摂取・肥満・喫煙・運動不足といった生活習慣が相互に関連していると考えられています。

検査・診断

心臓は収縮や拡張することで血液を送り出していますが、収縮による血圧値を収縮期血圧（上の血圧）、拡張による血圧値を拡張期血圧（下の血圧）といいます。
診療用血圧（診療現場で測定するもの）において「収縮期血圧140mmHg以上かつ/または拡張期血圧90mmHg以上」、家庭血圧（自宅で測定するもの）において「収縮期血圧135mmHg以上かつ/または拡張期血圧85mmHg以上」の場合、高血圧と診断されます（家庭血圧の測定方法については、**高血圧の「その他」**の項を参照してください）。

健診結果一覧表 ①

■ 基準値外

検査項目
基準値（単位）

2023年
6月10日

2022年
6月7日

2021年
6月10日

2020年
6月10日

2019年
6月10日

身体測定	身長 [cm]	172.5	172.6	172.5	172.5	172.5
	体重 [kg]	68	72	68	68	68
	BMI 18.5~24.9	24.6	25.5	24.6	24.6	24.6
	胸囲（実測） ~94.9(cm)	84.2	86.5	84.2	84.2	84.2
血圧等	(b) 収縮期血圧 ~129(mmHg)	110	113	110	110	110
	拡張期血圧 ~129(mmHg)	80	79	80	80	80
尿検査	尿糖	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	尿蛋白	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
脂質	中性脂肪 30~149(mg/dL)	91	88	91	91	91
	HDLコレステロール 40~(mg/dL)	49	47	49	49	49
	LDLコレステロール 40~(mg/dL)	121	122	121	121	121
	GGT（AST） ~30	34	24	34	34	34
肝機能	GPT（ALT） ~30	49	25	49	49	49
	Y-GT（Y-GTP） ~50	32	22	32	32	32

健診結果一覧表（PDFダウンロード）

血圧

受診日：2022/01/24

収縮期血圧（mmHg）

基準値：129

前回

今回

A 140 → D 150

143

140

150

前々回

今回

前回

基準範囲内

基準範囲（境界値）

基準範囲外

< 前の5回分を表示

後の5回分を表示 >

項目別解説

血圧測定は、普段の健康状態を知るうえでも重要な検査です。血圧とは、心臓のポンプ作用により全身に血液を送り出すときの圧力のことです。心臓が収縮したとき**最高血圧**（収縮期血圧）に、心臓が拡張したとき**最低血圧**（拡張期血圧）になります。血圧は常に一定ではありません。日中に上昇し夜間に低下するというように、一日の内でも変動します。また、寒さや暑さ、運動、ストレスなど環境の変化に応じて変動します。そのため、医師が**高血圧症**かそうでないかを診断する際は、複数回血圧を測定します。

疾病リスク

(c) **本態性高血圧**、動脈硬化、心筋梗塞、脳卒中、二次性高血圧など

3